UI/UXデザイン詳細検討タスクリスト v2.5 (最終FIX版)

## 基本方針と全体設計

### 1. デザイン原則の確立 :

「画像整理アプリ デザイン原則案 v1.2」に基づき、アプリケーション全体で一貫したデザイン言語（カラースキーム、タイポグラフィ、アイコンスタイル、余白のルールなど）を定義する。 ユーザビリティ（直感性、学習容易性、効率性、誤操作防止、フィードバック）を最優先する。 アクセシビリティ（キーボード操作、コントラスト、文字サイズなど）への配慮を初期段階から組み込む。 使用アイコンセット: Google Fonts Icons (Material Symbols and Icons - Outlined スタイル) を基本とする。詳細は「画像整理アプリ アイコンアセット集 v1.1 (最終FIX版)」を参照。

### 2. 情報アーキテクチャの再確認 :

HTMLモックアップ（ブレ画像、類似画像、エラータブの3ペイン構成、設定画面モーダル）をベースに、各画面で表示すべき情報、操作要素を整理し、過不足がないか確認する。 ユーザーが目的を達成するための主要な操作フロー（フォルダ選択→スキャン→結果確認→整理実行）を再検証し、迷いなく操作できるか確認する。

### 3. レスポンシブデザインの方針（ウィンドウサイズ変更への対応） :

アプリケーションの最小ウィンドウサイズ : 幅 800px 、高さ 600px と定義する。これ以下になった場合は、コンテンツが隠れる、またはスクロールバーが表示されることを許容する。 主要3ペイン（左：プレビュー、中央：リスト、右：フィルター/操作）の挙動 : 基本方針 : ウィンドウ幅に応じて各ペインの幅は可変とする。ユーザーが手動で調整したペイン間の区切り線の幅の比率を、ウィンドウリサイズ時も可能な限り維持する。各ペインには実用的な最小幅（左:220px, 中央:320px, 右:260px）を設定し、それ以下には縮小されないようにする。 左ペイン（プレビューエリア） : デフォルト幅: ウィンドウ幅の約25% 最小幅: 220px 最大幅: ウィンドウ幅の50% 中央ペイン（結果リストエリア） : デフォルト幅: ウィンドウ幅の約50% 最小幅: 320px 最大幅: 他のペインの最小幅を確保した上で可変 右ペイン（操作・フィルターパネル） : デフォルト幅: ウィンドウ幅の約25% 最小幅: 260px 最大幅: ウィンドウ幅の40% 縮小時の優先度 : 1. 中央ペイン → 2. 左ペイン → 3. 右ペインの順で、各最小幅に向かって縮小する（ただし、通常のリサイズではユーザー設定比率を優先）。 ヘッダーエリアの挙動 : フォルダ選択ボタンと選択パス表示: ウィンドウ幅縮小時は、パス表示エリアを省略表示（例: C:\Users...\TargetFolder 、ツールチップでフルパス表示）。ボタンテキストは原則維持。 詳細は「レスポンシブモックアップ（幅狭時）」 ( responsive\_mockup\_narrow\_v1 ) を参照。 スキャン開始ボタン、設定ボタン: サイズ・アイコン・テキストは原則固定。極端な縮小時、設定ボタンなどを右端固定し、他要素が幅調整。 フッターエリア（画面下部アクションボタンエリア）の挙動 : 選択アイテム数/合計サイズ表示: 左寄せ。長文時は折り返しor省略（ツールチップで全文）。類似画像タブの場合は、「Xペア、Yファイル (合計Z MB)」形式を基本とし、ファイル未選択時は補足表示を検討。 アクションボタン群: 右寄せ。幅不足時はアイコンのみ or 「...」メニュー検討（v1はテキスト付きボタン維持優先、収まらなければ縦並び許容）。 詳細は「レスポンシブモックアップ（幅狭時）」 ( responsive\_mockup\_narrow\_v1 ) を参照。 スキャン進捗/ステータス表示: 中央または左側。長文時は複数行or省略（ツールチップで全文）。 バージョン情報: 右下隅固定。

## 各画面・コンポーネントの詳細設計

既存のHTMLモックアップ（ blur\_image\_mockup\_v2 , similar\_image\_mockup\_v3 , error\_tab\_mockup\_v3 , settings\_mockup\_v2 ）をベースに、以下の項目を詳細化します。

### 2.1. メイン画面共通要素

#### ヘッダーエリア:

「対象フォルダ選択」「移動先フォルダ選択」ボタンのデザイン、状態変化、選択されたパスの表示方法。省略表示時はツールチップでフルパス表示。 「スキャン開始」ボタンのデザイン、状態変化。無効時はツールチップで理由表示（例：「スキャン対象のフォルダを選択してください。」「現在スキャンを実行中です。」）。 「設定」ボタン: Google Fonts Icon settings (Outlined) を使用。クリック時の動作（設定画面モーダルの表示）。ツールチップで「設定」と表示。

#### タブUI (中央ペイン上部):

「ブレ画像」「類似画像」「エラー」タブのデザイン、アクティブ状態の視認性。 各タブに表示する検出アイテム数の表示方法と更新タイミング。

#### フッターエリア (画面下部アクションボタンエリア):

選択中のアイテム数と合計サイズの表示エリアのデザインと更新ロジック。類似画像タブでは「Xペア、Yファイル (合計Z MB)」形式を基本とし、ファイル未選択時は補足表示を検討。 スキャン結果のサマリー情報（総ブレ件数、総類似ペア数、総エラー件数など）の表示内容と更新タイミング。 バージョン情報の表示方法と位置。 「選択した画像をゴミ箱へ」「選択した画像を完全に削除」「選択した画像を移動...」ボタン押下時には、それぞれ専用の確認ダイアログを表示する。ダイアログには、実行する操作の種類、対象アイテム数、合計ファイルサイズ（移動時は移動先フォルダパスも）を表示し、ユーザーに最終確認を促す。（詳細は「3. インタラクションとアニメーション」の「確認ダイアログ」セクションを参照）各ボタンが無効時はツールチップで理由表示（例：「整理する画像を選択してください。」「移動先のフォルダを選択してください。」）。

#### ステータスバー/プログレスバー（スキャン中など）:

スキャン中の進捗表示の具体的なデザインと表示場所。 スキャン完了、エラー発生、 スキャンキャンセル などの状態通知のデザインと表示場所。

### 2.2. プレビューエリア（左ペイン）

#### ブレ画像プレビュー:

選択されたブレ画像の表示方法、アスペクト比の維持。 プレビュー倍率の操作UI : 表示場所 : プレビューエリア下部にコントロールバーとして配置。 UIコンポーネントと操作 : スライダー : 1%～150% (v1上限、1%刻み)、ドラッグでリアルタイム変更。 数値入力フィールド : 現在倍率表示、直接入力で適用 (1%～150%範囲、範囲外は丸め込み)。 「-」ボタン : Google Fonts Icon remove\_circle\_outline (Outlined) を使用。クリックで一定ステップ縮小。 「+」ボタン : Google Fonts Icon add\_circle\_outline (Outlined) を使用。クリックで一定ステップ拡大。 「100%」ボタン : Google Fonts Icon filter\_center\_focus (Outlined) を使用。クリックで100%にリセット。 キーボードショートカット : Ctrl + + (拡大), Ctrl + - (縮小), Ctrl + 0 (100%リセット)。 マウスホイール : プレビューエリアで Ctrl + ホイール上下 で拡大縮小。 デザイン : 他UIと一貫性のあるスタイルで、プレビュー下部に水平配置。 詳細は blur\_image\_mockup\_v2 および similar\_image\_mockup\_v3 を参照。 画像の詳細情報（ファイル名、ファイルパス、解像度、ファイルサイズ、撮影日時、Exif情報など）の表示エリアと内容、レイアウト、スクロールの要否。ファイル名・パスが省略表示される場合はツールチップで全文表示。

#### 類似画像プレビュー:

2つの画像の並列表示方法、識別ラベル。 各画像の詳細情報表示。ファイル名・パスが省略表示される場合はツールチップで全文表示。 推奨表示 : リストで推奨とされている画像側のプレビューパネルの隅などに、リスト内と同様の Google Fonts Icon star\_outline または workspace\_premium (Outlined) を表示。ツールチップで「アプリによる推奨（主な判断根拠: 解像度が高い）」と表示。 ブレ画像プレビューと同様の倍率調整UI（スライダー、数値入力フィールド、「-」「+」「100%」ボタン）を配置する。このUIはプレビューエリア全体で共通とし、表示されている2つの類似画像は常に同じ倍率で連動して拡大・縮小される。

#### エラー対象ファイル情報表示:

画像プレビューがない場合の、ファイル情報やエラー内容の表示レイアウト。ファイル名・パスが省略表示される場合はツールチップで全文表示。

### 2.3. 結果リストエリア（中央ペイン）

#### リスト共通:

テーブルヘッダーのデザイン、ソート機能の視覚的フィードバック。

* **初期ソート状態**: 各タブのリストが表示される際、前回終了時にそのタブで設定されていたソート条件（カラム、昇順/降順）を復元する。永続化された情報がない場合は、各タブであらかじめ定義されたデフォルトのソート順（例：ブレ画像タブはブレスコア降順、類似画像タブは類似度降順、エラータブはファイル名昇順）を適用する。
* **クリック時の動作**:
  1. 現在ソート対象でないカラムのヘッダーをクリックすると、そのカラムを**昇順**でソートする。
  2. 現在「昇順」でソートされているカラムのヘッダーを再度クリックすると、**降順**でソートする。
  3. 現在「降順」でソートされているカラムのヘッダーを再度クリックすると、**昇順**でソートする（昇順⇔降順のトグル）。
* **視覚的フィードバック**: ソートが適用されているカラムヘッダーは、カラム名テキストを太字またはアクセントカラー（例：ブルー系）で表示する。昇順ソート時はカラム名の右に Google Fonts Icon arrow\_upward (Outlined) アイコン、降順ソート時は Google Fonts Icon arrow\_downward (Outlined) アイコンを表示する。ソートが適用されていない他のカラムヘッダーは通常表示とし、アイコンは表示しない。 行選択時のハイライト表示（例: bg-sky-50）。 チェックボックスのデザインと動作。 スクロールバーのデザイン。 大量件数表示時のパフォーマンス : 仮想スクロールの採用を決定する。 採用ライブラリ: Clusterize.js (Vanilla JSベース、軽量、プロトタイプ検証結果良好)。 適用閾値 : 各リストのアイテム数が 500件 を超過した場合に仮想スクロールを有効にする（閾値は開発中のテストで調整の可能性あり）。 考慮事項 : スクロールバーの挙動、アイテムの高さ（固定高を前提）、ソート・フィルター機能との連携（Clusterize.jsの update() メソッドを利用）、キーボードアクセシビリティ（基本的なTabキー操作、リスト内移動は追加実装検討）。 リストアイテムのホバーエフェクト: 全てのリストアイテムの各行に対して、共通のホバーエフェクト（例: hover:bg-slate-100）を適用する。選択行ハイライトとは明確に区別する。類似画像リストの推奨ペア行は専用のホバーエフェクト（例: hover:bg-yellow-100）を適用。 リスト内のファイル名・パスが省略表示される場合はツールチップで全文表示。

#### ブレ画像リスト:

各カラムの表示フォーマット、デフォルト幅、ユーザーによる幅調整の可否。 サムネイルのサイズ、品質、読み込み中のプレースホルダー表示。 ブレスコアの視覚的表現。「ブレスコア」カラムヘッダーにツールチップで「ブレの度合い (0-100、数値が高いほどブレが大きい)」と表示。

#### 類似画像リスト:

各カラム（ペア選択チェック、ファイル1選択チェック、ファイル名1/サムネイル1/解像度1、ファイル2選択チェック/ファイル名2/サムネイル2/解像度2、類似度）の表示フォーマット、幅。 詳細は similar\_image\_mockup\_v3 を参照。 ペアごとのグルーピングの視覚的表現。 類似度の視覚的表現。「類似度」カラムヘッダーにツールチップで「画像の類似度 (0-100%、数値が高いほど類似している)」と表示。 「推奨画像」の提案のリスト内での表示方法 : 推奨ロジック（優先順位） : (変更なし) 視覚的表示 : 推奨画像のファイル名前に Google Fonts Icon star\_outline または workspace\_premium (Outlined) を表示。ツールチップで「アプリによる推奨（主な判断根拠: 解像度が高い）」と表示。 推奨ペアの行背景を ごく薄い黄色系でハイライト。 推奨されなかった方の画像のファイル選択チェックボックスをデフォルトでオンにする。ペア全体の選択チェックボックスはデフォルトではオフのままにする。 類似画像リストのチェックボックスの挙動と操作対象: (変更なし、前回の議論内容を反映済み)

#### エラーリスト:

各カラムの表示フォーマット、幅。 エラー内容の視覚的表現（エラー種別によるアイコンや色分けなど。例: 破損には Google Fonts Icon broken\_image\_outline (Outlined)、アクセス不可には Google Fonts Icon lock\_outline (Outlined) ）。 詳細は error\_tab\_mockup\_v3 を参照。

### 2.4. 操作・フィルターパネル（右ペイン）

#### 選択操作エリア (エラータブ時) :

「全件選択」「選択解除」ボタンのデザインと配置、状態。 「エラーログをエクスポート...」ボタン: Google Fonts Icon file\_download (Outlined) を使用。無効時はツールチップで理由表示（例：「エクスポート対象のエラーがありません。」）。 デザインと配置、ファイル形式、文字コード、デフォルトファイル名、出力内容、出力対象。(変更なし) (注意: 「選択をリストから削除」ボタンは仕様変更により削除済み)

#### フィルター条件エリア:

各タブに応じたフィルターUIのデザイン。 「適用」「リセット」ボタンのデザインと配置。無効時はツールチップで理由表示（例：「適用するフィルター条件の変更がありません。」「フィルターは既に初期状態です。」）。 フィルター適用中の視覚的フィードバック。 フィルター更新タイミング。(変更なし)

### 2.5. 画面下部アクションボタンエリア (フッター)

#### ブレ画像/類似画像タブ用:

「選択した画像をゴミ箱へ」ボタン: Google Fonts Icon delete\_outline (Outlined) を使用。 「選択した画像を完全に削除」ボタン: Google Fonts Icon delete\_forever\_outline (Outlined) を使用。 「選択した画像を移動...」ボタン: Google Fonts Icon drive\_file\_move\_outline (Outlined) を使用。 各ボタンのデザイン、配置、状態。無効時はツールチップで理由表示（例：「整理する画像を選択してください。」「移動先のフォルダを選択してください。」）。 選択中のアイテム数と合計サイズのリアルタイム表示。類似画像タブでは「Xペア、Yファイル (合計Z MB)」形式を基本とし、ファイル未選択時は補足表示を検討。

#### エラータブ用 :

「選択を無視」ボタン: Google Fonts Icon visibility\_off\_outline (Outlined) を使用。 「再スキャン試行」ボタン: Google Fonts Icon replay\_circle\_filled (Outlined) を使用。 各ボタンのデザイン、配置、状態。無効時はツールチップで理由表示（例：「操作対象のエラー項目を選択してください。」）。 選択中のアイテム数の表示方法。

### 2.6. 設定画面 (モーダルダイアログ)

全体レイアウト、各設定項目のラベルと説明文の明確化。(変更なし) スキャン設定、整理操作設定、ログ設定。(変更なし) ダイアログ下部ボタン: 「キャンセル」「適用」「OK」ボタンのデザイン、配置、役割の明確化。各ボタンに適切なアイコン（例: キャンセルに close 、適用に save 、OKに check\_circle ）を使用。 詳細は settings\_mockup\_v2 を参照。 「ログファイルの場所」の「変更...」ボタンに Google Fonts Icon folder\_open\_outline (Outlined) を使用。

## 3. インタラクションとアニメーション

ホバーエフェクト（リストアイテム含む）、クリックエフェクト、状態変化の通知、ローディング表現、画面遷移アニメーション。(変更なし、リストホバーは2.3で定義)

#### ドラッグ＆ドロップ :

対象フォルダ指定時のドラッグオーバー : ウィンドウ全体へのフィードバック : 中央に「対象フォルダをここにドロップ」テキストと Google Fonts Icon folder\_open\_outline (Outlined) をオーバーレイ表示。 移動先フォルダ指定時のドラッグオーバー : エリア内に「移動先フォルダをここにドロップ」テキストと Google Fonts Icon folder\_open\_outline (Outlined) 表示検討。 (その他変更なし)

#### 初回起動時ガイダンス:

* **目的**: ユーザーに主要な操作（対象フォルダ選択、スキャン開始、結果確認、画像整理）を理解させる。
* **形式**: 複数ステップのモーダルダイアログ形式（幅500-600px程度、画面中央表示、背景ホワイト、基本テキストダークグレー）。
* **ハイライト方法**: スポットライト効果（説明対象のUI要素以外を半透明の暗いオーバーレイで覆う）。
* **ステップ構成と説明文**:
  + **導入メッセージ（ステップ0）**:
    - ハイライト: なし（モーダルダイアログ全体）。
    - 説明文: 「イメージクリーンアップアシスタントへようこそ！簡単な操作でPC内の画像をスッキリ整理できます。いくつかの主要なステップをご案内します。」
    - ボタン: 「次へ」（アイコン: arrow\_forward\_ios、ブルー系背景）、「スキップ」（アイコン: skip\_next、ライトグレー背景）。モーダルダイアログフッター右側に「次へ」、その左に「スキップ」を配置。
    - オプション: 「□ 次回からこのガイダンスを表示しない」チェックボックスをモーダル下部（ナビゲーションボタン左側）に配置。
  + **ステップ1：スキャンするフォルダを選択**:
    - ハイライト: ヘッダーエリアの「対象フォルダ選択」ボタンとパス表示エリア。
    - 説明文: 「はじめに、整理したい画像が保存されているフォルダを選びましょう。こちらのボタンから選択できます。」
    - ボタン: 「次へ」（アイコン: arrow\_forward\_ios）。
  + **ステップ2：スキャンを開始**:
    - ハイライト: ヘッダーエリアの「スキャン開始」ボタン。
    - 説明文: 「フォルダを選択したら、このボタンを押して画像のスキャンを開始します。ブレ画像や類似画像などを自動で検出します。」
    - ボタン: 「次へ」（アイコン: arrow\_forward\_ios）。
  + **ステップ3：結果を確認**:
    - ハイライト: 中央ペインのタブUIと左ペインのプレビューエリア。
    - 説明文: 「スキャンが完了すると、結果がここに表示されます。タブを切り替えて検出された画像を確認し、プレビューで詳細をチェックしましょう。」
    - ボタン: 「次へ」（アイコン: arrow\_forward\_ios）。
  + **ステップ4：画像を選択して整理**:
    - ハイライト: 中央ペインのリスト内チェックボックスとフッターのアクションボタン群。
    - 説明文: 「整理したい画像をリストで選択し、下のアクションボタンで削除や移動を実行します。不要な画像を安全に整理できます。」
    - ボタン: 「次へ」（アイコン: arrow\_forward\_ios）。
  + **完了メッセージ（ステップ5）**:
    - ハイライト: なし（モーダルダイアログ全体）。
    - 説明文: 「これで基本的な操作は完了です！さっそく画像整理を始めてみましょう。」
    - ボタン: 「開始する」（アイコン: rocket\_launch、ブルー系背景）（または「閉じる」 アイコン: check\_circle\_outline）。
* **スキップ時の挙動**: ガイダンスモーダルは即座に閉じられ、ユーザーはメイン画面を自由に操作可能になる。
* **「次回から表示しない」オプションの永続化**: チェックボックスがオンの場合、設定情報を設定ファイルに保存し、次回以降はガイダンスを表示しない。（詳細は「画像整理アプリ 状態管理・永続化定義 v1.1 (最終FIX版)」を参照）

#### 確認ダイアログ（削除・移動操作時）:

* **表示タイミング**: 各削除・移動ボタン押下時。
* **デザイン**: アプリケーション全体のUIと一貫性を持たせる（モーダル形式、幅480px程度、画面中央表示、背景ホワイト）。操作の重要度に応じたアイコンを使用。
* **表示情報**: 操作の種類、対象アイテム数、合計ファイルサイズ、移動先フォルダ名（移動時）。
* **メッセージ文言**: 簡潔かつ明確に。特に「完全に削除」時は元に戻せないことを強調。
* **ボタン**: 「実行」ボタンと「キャンセル」ボタンを配置。文言・スタイルもアプリ全体と統一。
* **各ダイアログの詳細**:
  + **「選択した画像をゴミ箱へ」ボタン押下時**:
    - タイトル: 「画像の削除の確認」
    - アイコン: Google Fonts Icon info\_outline (Outlined) （ブルー系）
    - メッセージ: 「選択された {X} 件の画像 (合計 {Y} MB) をゴミ箱へ移動します。よろしいですか？」
    - 実行ボタン: 「ゴミ箱へ移動」（プライマリーカラー、任意アイコン: delete\_outline）
    - キャンセルボタン: 「キャンセル」（標準スタイル、任意アイコン: close）
  + **「選択した画像を完全に削除」ボタン押下時**:
    - タイトル: 「画像の完全な削除の確認」
    - アイコン: Google Fonts Icon warning\_amber (Outlined) （アンバー系またはレッド系）
    - メッセージ: 「選択された {X} 件の画像 (合計 {Y} MB) を完全に削除します。\n\nこの操作は元に戻すことができません。\n本当によろしいですか？」
    - 実行ボタン: 「完全に削除」（レッド系、任意アイコン: delete\_forever\_outline）
    - キャンセルボタン: 「キャンセル」（標準スタイル、任意アイコン: close）
  + **「選択した画像を移動...」ボタン押下時**:
    - タイトル: 「画像の移動の確認」
    - アイコン: Google Fonts Icon info\_outline (Outlined) （ブルー系）
    - メッセージ: 「選択された {X} 件の画像 (合計 {Y} MB) を以下の場所に移動します。よろしいですか？\n\n移動先: {Z:\Path\To\OutputFolder}」
    - 実行ボタン: 「移動する」（移動ボタンに合わせた色、任意アイコン: drive\_file\_move\_outline）
    - キャンセルボタン: 「キャンセル」（標準スタイル、任意アイコン: close）

## 4. プロトタイピングと検証

主要画面のHTML/CSSでの再構築・詳細化、インタラクティブなプロトタイプの作成、ユーザビリティテスト、フィードバックの反映とイテレーション。(変更なし)

## 5. ドキュメント化

スタイルガイドの作成: 色、タイポグラフィ、 アイコン (Google Fonts Icons - Outlined を使用、詳細は「画像整理アプリ アイコンアセット集 v1.1 (最終FIX版)」参照) 、余白、角丸などの基本的なデザイントークンをまとめる。 コンポーネントライブラリ（簡易的でも可）: 再利用可能なUIコンポーネントの仕様、状態、バリエーションをまとめる。

## 6. 通知・メッセージ・文言（マイクロコピー）定義

(変更なし)